

泌尿器科

主な対象疾患

尿路性器腫瘍：腎がん、副腎腫瘍、膀胱がん、前立腺がん、精巣がん など

後腹膜腫瘍

前立腺肥大症

神経因性膀胱・尿失禁

尿路結石症：腎結石、尿管結石 など

小児泌尿器科疾患：包茎、陰嚢水腫、停留精巣、膀胱尿管逆流症、先天性奇形 など

尿路性器感染症：膀胱炎、腎盂炎、性感染症 など

男性不妊症

診療科の特徴

県北地区のほぼ全域をカバーする中症～重症泌尿器疾患が当院に集まります。したがって、手術件数がとても多いことが特徴です。最近増加している前立腺がんの診断では、がんの部位の硬さを検出するエラストグラフィーや、MRIと超音波をフュージョンさせる検査（MRI-RVS）などを駆使し、早期癌の検出に力を注ぐ一方で、多くの国際学会、国際雑誌にも発表してきました。

治療に関しては、2011年11月よりダヴィンチシステムを用いたロボット支援腹腔鏡根治的前立腺全摘除術（RARP）を開始し、2022年12月に770例を達成いたしました。

また、早期の腎臓がんに対しては、2015年よりロボット支援腹腔鏡腎部分切除術（RAPN）を開始し2022年12月に100例を達成いたしました。

また、進行膀胱癌に対しても、2021年4月よりロボット支援腹腔鏡膀胱全摘術（RARC）を開始し2022年12月に12例を達成しました。また、ロボット支援腹腔鏡腎摘除術、腎尿管摘除術、ロボット支援腎盂形成術も軌道に乗っています。

メッセージ

患者さん主体の診療を心がけるのはもちろん、わかりやすく、明るい外来・病棟をめざしています。検査などは患者さんに痛みや侵襲が少ないものから行う方針です。医師・看護師・コメディカルとも話し合いながら、患者さんにもっとも適した診療が提供できるように努力しています。

近隣の泌尿器科医師と密接な連携を図って、地域全体の泌尿器科診療のレベルアップに努めています。

副院長（泌尿器科）
堤 雅一

診療実績

■泌尿器科患者統計

	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
外来新患(件)	1,054	1,173	1,067	964	929	868	864	865
入院患者(件)	1,082	1,206	1,160	1,071	1,127	995	1,050	1,192
平均在院日数(日)	6.1	6.5	6.2	6.8	6.0	6.1	6.4	6.7
手術件数(除ESWL)(件)	636	681	685	624	602	548	565	658
ESWL(件)	67	59	60	28	35	58	69	44
前立腺生検(件)	300	355	340	263	303	237	229	317

■主な術式の統計

	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
副腎摘除	3	8	7	7	1	2	1	3
腎摘除	19	29	21	27	13	16	13	12
腎尿管摘除	22	6	19	14	12	23	17	20
腎部分切除	11	9	24	17	27	22	26	32
膀胱全摘除	9	14	9	9	10	18	10	14
経尿道的膀胱腫瘍切除術	182	182	163	177	186	156	173	172
前立腺全摘除	59	78	87	70	63	62	75	81
前立腺肥大症の手術	57	66	44	32	32	33	26	17
上部尿路結石の手術	90	91	109	115	105	66	88	131

医師紹介

副院長 堤 雅一(つつみ まさかず)

日本泌尿器科学会専門医・指導医、日本泌尿器
腹腔鏡技術認定医、日本内視鏡外科学会技術
認定医、日本がん治療認定機構がん治療認定医、
泌尿器ロボット支援手術プロクター(手術指
導医)認定医

主任医長 遠藤 剛(えんどう つよし)

日本泌尿器科学会専門医・指導医、日本がん治
療認定機構がん治療認定医、日本泌尿器腹腔鏡
技術認定医、日本内視鏡外科学会技術認定
医泌尿器ロボット支援手術プロクター(手術
指導医)認定医

主任医長 石塚 竜太郎(いしづか りゅうたろう)

日本泌尿器科学会専門医・指導医、
日本がん治療認定機構がん治療認定医

医員 高橋 嶺央(たかはし れお)

医員 木名瀬 聡華(きなせ さとか)

医員 近藤 聡(こんどう さとし)

◆お問い合わせ◆

(株)日立製作所日立総合病院

地域医療連携室

〒317-0077 茨城県日立市城南町二丁目1番1号

TEL: 0294-23-8343

FAX: 0294-23-8412